

ち

ば

だ

い

プ

レ

ス

LIBRARY OF HEALTH SCIENCES

特集 千葉大学の留学サポート①

世界に羽ばたく
学生を応援!

特集 千葉大学の留学サポート②

「トビタテ! 留学JAPAN」
に13人が選ばれる!

特集 戦略的重点研究強化プログラム

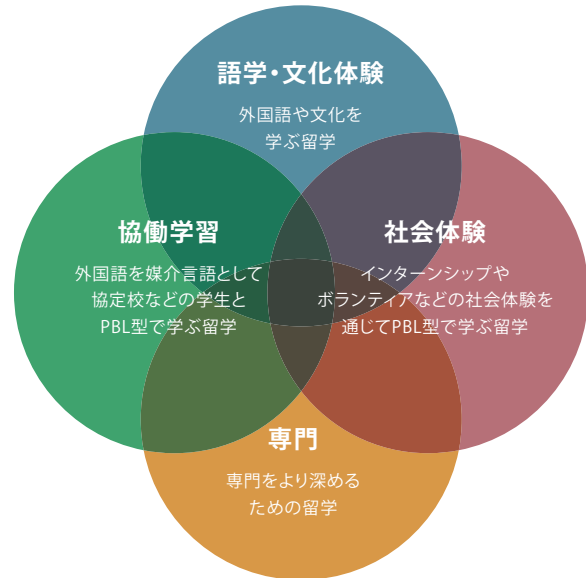
37

vol.
2016 SEPTEMBER

留学ガイダンス&留学フェアで自分に合ったプログラムを見つけよう!

あなたが留学で何を重視したいかで、あなたにぴったりの留学プログラムがきっと見つかります。

千葉大学の留学プログラムは、[語学・文化体験]、[協働学習]、[社会体験]、[専門]の4つに大きく分けられます。しかし、留学経験者に聞いてみると、留学というのは一面的な経験ではなく、最初に設定していた目標以外の学びも多く、プログラムのタイプは重なり合っているそうです。



| 【プログラム名】 | |
|-----------|--------------------------------------|
| ● | グローバル・フィールド・ワーク (BOOT) |
| ● | 海外研修英語・海外研修英語文化初修外国語海外研修 |
| ●● | ハワイ大学・環境体験プログラム |
| ●●● | グローバル・スタディ・プログラム (GSP) |
| ●●●● | ツイン型学生派遣プログラム (ツインクル) |
| ●●●●● | ポスト・アーバン・リビング・イノベーション (PULI Program) |
| ●●●●●● | グローバルインターンシップ |
| ●●●●●●● | グローバルボランティア |
| ●●●●●●●● | Global+ |
| ●●●●●●●●● | 海外派遣留学プログラム |

平成27年度
各留学プログラム
参加者合計
519人!

*ここでいう協働学習とは、協定校の学生と協働で学ぶことを指します。
*PBLとは、Program Based Learning の略語で、課題の発見・解決に挑戦する実践的な学習形態です。

アカデミック・リンク・センターにて12時10分から開催!

千葉大のプログラムを知りたい!

〈千葉大学海外留学ガイダンス〉

千葉大学の留学プログラムを徹底紹介します。

日時 10月3日(月)、5日(水)、6日(木)、7日(金)、12日(水)、13日(木)

英語圏の国に行きたい!

〈千葉大学留学フェア〉

英語圏(アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア)の留学情報を紹介します。

日時 10月17日(月)、19日(水)、20日(木)、24日(月)



海外留学の安全を、さまざまな角度からサポート

千葉大学では、海外留学でのリスクを減らすために、学生の皆さんの体調管理や危機管理にも万全の体制を整えています。各プログラムごとに、参加学生への事前指導、緊急時の連絡体制の整備、旅行保険や危機管理サービスへの加入などを行っている他、海外留学支援室でも留学に関する相談を受け付けています。

また、今年8月には教育学部・国際交流委員会主催にて、西千葉キャンパスで「海外渡航に必要な国際旅行医学研修会」と題し、医学部附属病院感染症管理治療部・国際医療センターの谷口俊文先生の講演を行いました(写真)。今後いろいろなテーマで留学における安全を支援していきます。



多彩な留学プログラムで

世界に羽ばたく学生を応援!

千葉大学には、グローバル人材を育成するための多彩なプログラムがあります。海外経験のない方でも安心して世界に羽ばたく初級者向けから、自分の専門分野を深めたい上級者向けまでいろいろなプログラムがあり、きっと皆さんに合った留学が見つかるはずです。本特集では、お勧めの留学プログラムと、「10月は留学月間!」として展開されるフェアやガイダンスを紹介します。



初めての留学のハードルを低くするプログラム 「グローバル・フィールド・ワーク (BOOT)」

海外ビギナーズ向けのプログラム。アジアのトップ大学を派遣先として、学生の皆さんから特に要望の高いコミュニケーションベースの英語学習および現地文化の学習・体験を行うものです。

また、海外渡航の心構えから準備、体調管理や危機管理までの充実したフォローも特徴です。



| | |
|------|-----------------------|
| 対象 | 学部1~4年生、海外経験初心者 |
| 期間 | 2週間程度 |
| 派遣時期 | 夏プログラム8~9月、春プログラム2~3月 |
| 派遣先 | タイ、韓国、インドネシア、台湾 |

国内外の企業・官公庁での就業体験で、キャリアを考える 「グローバルインターンシップ」

協定校での英語・現地語、文化学習とインターンシップを組み合わせたものや、PBL型(課題解決型)のインターンシップを行うものなどがあります。

英語や現地語によるコミュニケーション能力を鍛え、現場体験を通じた課題解決方法を学び、将来のキャリアを考えるきっかけをつかむプログラムです。



| | |
|------|-----------------------|
| 対象 | 原則、学部2年生以上が対象 |
| 期間 | 2~6週間程度 |
| 派遣時期 | 夏プログラム8~9月、春プログラム2~3月 |
| 派遣先 | インドネシア、マレーシア、インド、香港など |

海外の大学で専門分野の学問をじっくり学ぶ 「海外派遣留学プログラム」

千葉大学が学生交流協定を締結している222(2016年7月13日現在)の海外の大学・研究機関へ、数カ月から1年間にわたり留学するプログラムです。派遣留学生は学内選考を経て推薦され、協定校へ交換留学生として派遣されます。

派遣先では、専門の学習をはじめ、国際理解や相手国文化への理解を通して自己成長することができます。



| | |
|------|---------------|
| 対象 | 学部1~4年生 |
| 期間 | 派遣先が定める1学期~1年 |
| 派遣時期 | 派遣先による |
| 派遣先 | 世界各地 |

海外協定校の学生と協働で学ぶ 「グローバル・スタディ・プログラム (GSP)」

海外協定校大学との協働学習プログラムで、千葉大学または協定校にて2週間程度で実施します。英語を媒介言語とし、特定のテーマに関する講義、フィールドリサーチ、ワークショップ、プレゼンを行い、課題改善の提案をします。

GSPを通して、問題解決能力や異文化理解力を高めることができます。



| | |
|------|----------------------------------|
| 対象 | 学部1~4年生および大学院生 |
| 期間 | 2週間程度 |
| 派遣時期 | 夏プログラム8~9月、春プログラム2~3月 |
| 派遣先 | ギリシャ、フィンランド、マレーシアなどの協定校、千葉大学でも実施 |

NPO・国際機関などでグローバル社会における自らの課題を発見する 「グローバルボランティア」

環境保護や幼稚園での活動、貧困地域での子ども支援など、国内外のフィールドでさまざまなボランティア活動に参加するプログラムです。

グローバルな状況下においてさまざまなひとと交流し、ともに活動することを通してコミュニケーション能力や実践力を高めるプログラムです。



| | |
|------|--------------------------|
| 対象 | 学部1~4年生 |
| 期間 | 10日間~3週間程度 |
| 派遣時期 | 主に8~9月頃 |
| 派遣先 | 世界各地(例:米、スリランカ、インドネシアなど) |

語学力向上と異文化体験をもっと欲張りしたいあなたへ 「海外語学(文化)研修プログラム」

海外の大学で語学(文化)学習のカリキュラムに参加しながら、現地の自然、歴史、社会に触れるプログラムです。プログラムごとに、魅力的なオプションツアーや体験学習などがあります。

英語以外にも、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語を学べるプログラムもあり、プログラム内容も多岐にわたっています。



| | |
|------|--|
| 対象 | 学部1~4年生 |
| 期間 | 16~34日間 |
| 派遣時期 | 夏プログラム8~9月、春プログラム2月中 |
| 派遣先 | アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、中国、ドイツ、スペイン、フランス、ロシア |

各プログラムの詳細は、「留学ガイダンス」でCheck!

おおにし よしのぶ
大西 好宣 教授
千葉大学高等教育研究機構・教授。日本、米連、タイでそれぞれ大学を卒業。NHK、国連、大阪大学等を経て現職。本学の留学プログラム作成などに関わり、トビタテ!では模擬面接と模擬グループ討論を担当。

さいとう りょうこ
齋藤 諒子さん
法政経済学部法政経済学科
経済コース3年
多様性人材コース(フィンランド)
トビタテ!の留学計画タイトルは「教育投資を増やすことで多くの学生が夢を持てる社会を!」

たなべりょうと
田邊 諒士さん
工学研究科建築・都市科学専攻
都市環境システムコース1年
理系、複合・融合系人材コース(マレーシア)
トビタテ!の留学計画タイトルは「自然災害から未来の命を守る! マレーシアの最高学府から世界を守るエンジニアを目指す」



千葉大学の留学サポート②

特集

千葉大学の支援がますます充実で

「トビタテ!留学JAPAN」に13人が選ばれる!



トビタテ!を知ったきっかけ
文部科学省の海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN」(以下、トビタテ!)の5期生が決定しました。書類選考・面接審査を経て千葉大学からは過去最多の13人が最終選考をクリア。出発を目前に控えたおふたりに登場していただき、留学計画づくりと千葉大学の支援体制について振り返っていただきました。

大西 2人がトビタテ!を知ったきっかけ、応募した理由を教えてください。

田邊 僕はトビタテ!の公式サイトです。大学2年のときに語学留学プログラムでオーストラリアに短期留学したことがあるのですが、準備不足で思うような成果が得られず、いずれ再留学したいと思っていたときにたまたま知りました。

齋藤 私が最初にトビタテ!に興味を持ったのは、派遣留学を考えていたときでした。派遣留学の説明会で、トビタテ!の1期生である法政経済学部の先輩の話聞いて、こんな留学制度があるなら参加してみたいと感じたのがきっかけです。

留学計画を決めてエントリー

大西 トビタテ!は、「世界で活躍できる人材」「社会で求められる人材」という選考基準があるので、エントリーシートとして提出する留学計画書づくりは苦労した

応募学生のサポートを強化しました。これについてはどうでしたか。

田邊 本番さながらに事前練習ができたのはありがたかったです。想定外の質問に詰まるようなこともありませんでしたし、僕が選考をパスできたのも、こうしたサポートのおかげだと思います。



これからトビタテ!に挑戦する皆さんへ

大西 トビタテ!の選考は、自分の考えを人に伝える力が鍛えられるので、キャリア教育に

一環でもあると考えています。私自身が大学時代、留学に憧れた経験があるので、皆さんの挑戦を全力でサポートします。

田邊 千葉大学は年々グローバルな人材育成に力を入れています。トビタテ!は経済的な支援があり、留学中の活動の自由度が高いので、海外で自分を磨いてみたいという人はぜひ検討してみてください。

齋藤 トビタテ!は自分がやりたいことを書類や面接、グループ討論などを通してアピールすることが重要です。未来の自分が進む方向を見つめ直すことにもなり、将来を考えるうえでもいい経験になりますよ。

模擬面接と模擬グループ討論で大学もサポート

大西 トビタテ!の選考の決め手となるのが、面接とグループ討論です。選考に臨む際、工夫したことや気を付けたことがあったら教えてください。

田邊 自分なりに工夫したのは、SNSを活用して、似たジャンルのトビタテ!生を探し出し、直接連絡を取って、面接でどのようなことを聞かれたか事前調査したこと。あとは、日本代表にふさわしいと思っていたんだけど、とにかく大きな声でハキハキ答えることを心掛けました。



齋藤 私の父の知人にフィンランドの人がいて、その方の娘さんがたまたま日本に留学に来ていたので、情報収集をさせていただき、グループ討論で使うプレゼン資料に反映させました。私が伝えたいと思っていたことがしっかり伝わるかどうかチェックしてくれたのはゼミの先生です。何度もダメ出しされましたが、そのおかげで納得のいくものになりましたと思います。

大西 今回の5期からは、本番前の模擬面接と模擬グループ討論の担当教員3名を置き、



しようと思いました。自然災害の多い日本のノウハウは新興国の災害対策に役立つはずですし、自分が「日本代表」のエンジニアとして活躍することは、トビタテ!の趣旨にも合致すると考えました。

齋藤 私は経済コースで教育経済学を専攻している。授業で、貧困と教育格差には密接な関係があるという現実を知りました。それがきっかけで、金銭的な心配をせずに受ける教育を受けられる制度がつかないかと考えるようになり、トビタテ!のテーマにも教育投資のあり方を選びました。フィンランドを留学先に選んだのも、フィンランドが高等教育の無償化を国として実現しているからです。

大西 留学計画書を書く際、あるいは事前準備で困ったことはありませんか。

田邊 トビタテ!では留学計画書で書面審査に通らないと面接に進むことができません。僕の場合、計画書作成に取り掛かるのが少し遅れたため焦っていましたが、スパーグローバル大



「トビタテ!留学JAPAN」とは?

「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」は、平成26年にスタートした官民協働の海外留学支援制度です。1年に2回募集があり、現在は6期生を募集中(平成29年度前期分・10月初旬学内締切)。

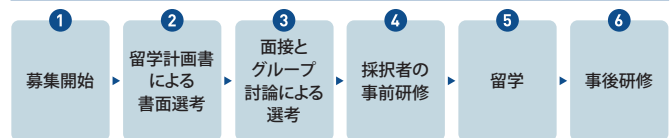
トビタテ!の特徴

- 返済不要の充実した奨学金、年間約1,000人募集。
- 留学計画は自身で立案、柔軟なプラン設計が可能。
- 成績要件はなく、本人の留学への思いや将来のビジョンを重視して採用。
- 事前・事後研修で留学目的の明確化、留学成果の最大化を図ることができる。
- 派遣学生コミュニティで多分野の人とのネットワークができる。

主な募集コース

- 理系、複合・融合系人材コース
理系、複合・融合分野において新産業創出につながるような取り組みのある留学
- 世界トップレベル大学等コース
世界大学ランキングで100位以内の大学や、同等の教育レベルにある研究機関への留学(人文・社会系分野)
- 新興国コース
今後、経済成長が期待される新興国への留学(人文・社会系分野)
- 多様性人材コース
スポーツ、アート、国際協力など、さまざまな分野や活動において、今後の活躍が期待できる人材の留学

プログラムの流れ



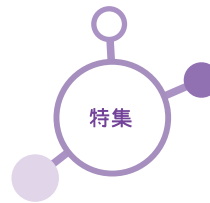


ここでは世界レベルの基礎研究や応用研究を強力に推進する「戦略的重点研究強化プログラム」について紹介します。
現在、6つのプログラムの研究が進められており、それぞれの分野で未来を切り開く可能性を秘めています。

千葉大学が取り組む
最先端の研究！

戦略的重点研究強化プログラム

Strategic priority research promotion program



特集

植物分子科学

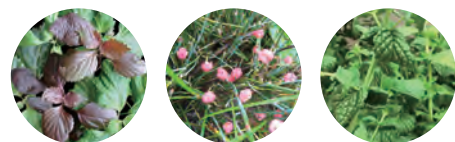


齊藤 和季
大学院薬学研究院教授、大学院薬学研究院長、薬学部
長、大学院医学薬学府附属
薬用資源教育研究セン
ター長

植物が作る多様な化学成分(ファイトケミカル)は、薬や食品、燃料、工業原料などに使われています。植物は「動かない」という生存戦略を進化の過程で発達させ、その過程で極めて多様な化学成分を作るようになりました。

本来、植物化学成分は、外敵に対する植物の防御や繁殖などのために作られた物質であり、さまざまな化学構造を持ち特異な生物活性を有しています。

この研究プロジェクトでは、植物化学成分に関する分子科学的な原理を明らかにすることを大きな目的としています。その過程において、多様なファイトケミカルがどのような植物ゲノムの機能によって作られるのか、どのように多様性と普遍性を有しているのかなどを解明。最終的には植物成分による新しい医薬品や試薬の開発、健康機能食品の開発、化粧品・香料・燃料などの工業原料に応用していくことを目指しています。



粘膜免疫・アレルギー治療学



中山 俊憲
大学院医学研究院教授、副学長(未来医療)、未来医療教育研究機構長、大学院医学研究院長、医学部長

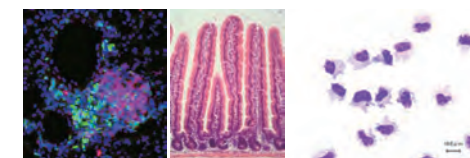
粘膜面の免疫システム研究によりアレルギーがんの予防ワクチンなど新規治療法を開発

国際粘膜免疫・アレルギー治療学研究拠点形成事業

本プロジェクトは、粘膜免疫の理論・技術をもとに、感染症アレルギーがんなどの新規予防・治療法を開発研究する学術分野である「粘膜免疫・アレルギー治療学」を新たに作ることを目的としています。

例えば、現在の注射型ワクチンでは重症化を押しとどめるだけで、体を感じから十分に守ることはできませんが、我々が開発を試みているワクチンでは病原体の入り口である粘膜の免疫力を上げ、病原体の感染そのものを止めることができます。つまり、「病気がかからない予防ワクチン」といった次世代型のワクチンを生み出せる可能性があります。

この研究により、超高齢化社会において健康に長生きするためだけでなく、公衆衛生を大幅に改善するためのワクチン開発における新コンセプトや技術を世界に向けて発信し、健康増進と生活の質の向上に貢献していきます。



マルチモーダル計測医工学



羽石 秀昭
千葉大学フロンティア医工学センター副センター長・教授

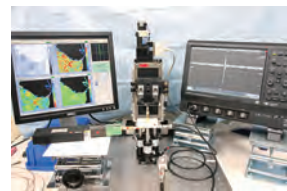
超音波やMRIなどを組み合わせながらの早期診断や低侵襲治療を可能にする医工学

マルチモーダル計測医工学

医療現場で「モダリティ」と呼ばれ、用いられるCTやMRI、超音波などの多様な診断装置を使い、さまざまな病気によって引き起こされる体内の変化について、細胞から臓器サイズまでどこで何が起きているのかを工学技術で解明し、それらの関係性を明確化することで、最終的に高精度で低侵襲な診断・治療を目指しています。

例えば、乳がんを対象にした非観血無侵襲の超迅速リンパ節生検システムの開発では、通常リンパ節を摘出して行う乳がんの転移判定のための病理診断を、当プロジェクトではリンパ節内の細胞の特性を高周波数の超音波で検出することで、体を切らずに病理診断を行える可能性があり、患者に負担が少ない医療を実現できます。

今後は、固形がんなどいくつかの具体的な疾患を対象に、モダリティを用いて生体組織の物性・構造・機能を計測し、それらを横断的・階層的に解析することで、生体に対する理解や疾患の診断能向上を目指します。



キラリティー物質科学



尾松 孝茂
大学院融合科学研究科教授、分子キラリティー研究センター長

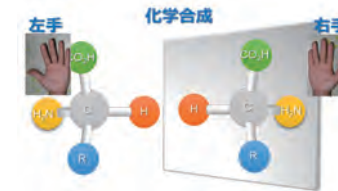
キラリな光「光渦」の角運動量が拓くナノテクノロジーと不斉合成や生命科学の解明への展開

キラリな光で拓く革新的物質科学

キラリティーとは「構成要素が同じなのに立体構造(右手系がその鏡像(左手系)と空間的に重ならない)」という性質のことを言います。右手と左手の役割例えば右利きと左利きとかが違うように右手系の物質と左手系の物質では性質が異なります。

千葉大学では「光のキラリティー」がナノ空間(10nm)で物質を螺旋の構造へ変形させる(キラリティーのない均質な物質をキラリティーのある物質に変形させる)ことを発見しました。

今後、キラリティーをもとに物質科学や生命科学の研究を進めていけば、太陽電池や磁気記録をはじめエレクトロニクスやエネルギーや環境に大きなブレークスルーをもたらず夢の素材(高効率で省エネルギーで耐環境性が良い)を生み出したり、化学薬品の製造プロセスに変革をもたらす医薬品のコストを下げることもできるかもしれません。



リモートセンシング



ヨサファット テトオコ スリスマンティヨ
環境リモートセンシング研究センター教授

先端マイクロ波リモートセンシング拠点形成

リモートセンシングとは、観測したい対象物からの電磁波を利用してその対象物に関する情報を得る技術です。利用する電磁波にはその波長により可視光、赤外線からマイクロ波まであります。中でもマイクロ波は特別な特徴があり、雲を透過して観測できます。このマイクロ波を利用したリモートセンシングの主流は合成開口レーダで、英語で Synthetic Aperture Radar (SAR) と言い、通常 SAR と呼ばれます。

当プロジェクトでは、SAR を使った観測性能の高い新しいセンサを開発し、地震、地滑り、火山などの災害の観測に応用しようとしています。既に開発した新型 SAR を航空機ボーイング737・200 に搭載して観測実験を行うほか円偏波合成開口レーダ(CP-SAR)を搭載した小型衛星を5年以内に打ち上げる準備を進めています。将来的には、インドネシア、韓国、マレーシアなどの国と国際共同で複数の小型衛星を同時運用することにより観測頻度を高め、防災などの目的に利用する計画があります。



ハドロン宇宙科学



吉田 滋
大学院理学研究科教授、ハドロン宇宙国際研究センター長

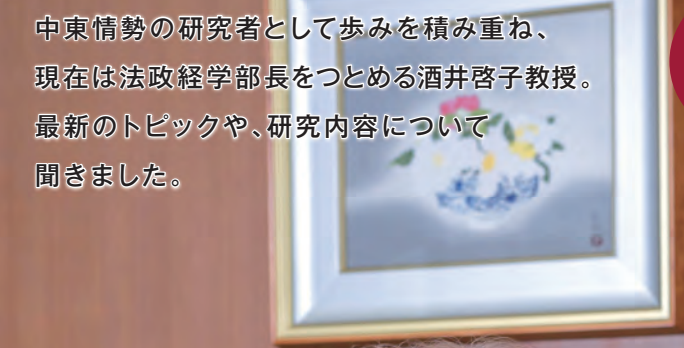
南極の観測装置によるニュートリノ研究と数値実験で挑む高エネルギー宇宙の謎

南極での12カ国国際共同実験へ参加

宇宙には、光の速さで降り注ぐ宇宙線という粒子の束が存在し、可視光より1000兆倍以上のエネルギーを持つものもあります。この宇宙線の起源という宇宙物理学上最大の謎を解くため、ハドロン宇宙国際研究センターはニュートリノという素粒子を捉え、極限高エネルギー宇宙を調べています。謎の解明を阻む壁を、電荷を持たず貫通力が高いニュートリノの性質により打破できると考えられ、このニュートリノ天文学は、宇宙線の起源を探る決定打として期待されています。

12カ国共同実験「IceCube」プロジェクトは、世界最大のニュートリノ観測装置を南極点に建設しました。本センターは唯の日本の参加機関であり、プロジェクトの中核として研究を推進しています。また大規模計算機を駆使した数値実験にて、さまざまな仮説をスーパーコンピュータ上で「試す」ことができ、計算結果を映像化し、何が起きているのか直感的に理解できます。本センターはこの宇宙インジゲン数値実験の先鋭を担っています。





酒井啓子(さかい けいこ)
千葉大学法政経学部教授。東京大学教養学部卒業。英ソラム大学修了。アジア経済研究所研究員、東京外国語大学教授などを
経て、平成24年より千葉大学法政経学部教授。平成27年4月より同学部長をつとめる。

中東情勢の研究者として歩みを積み重ね、現在は法政経学部長をつとめる酒井啓子教授。最新のトピックや、研究内容について聞きました。

研究のきっかけは
在学中に起こった中東問題
私が中東情勢やイラク政治の研究を始めたのは、最初の職場であるアジア経済研究所に、イラク研究者として入所したことがきっかけです。もちろん就職してから中東問題に関心を持ったわけではなく、萌芽は大学時代からありました。私は大学で国際関係論を専攻していたのですが、在学中にイラン革命やイラン・イラク戦争など、世界情勢を揺るがす大きな出来事が中東一帯で起こったことで中東情勢に強い関心を抱くようになりました。

現地メディアと建国の歴史から
イラクという国を捉える
研究のメインは、現地メディアを通じて情勢や世論をつかむ論調分析です。中東の情勢は刻一刻と変化するため、せっかくな研究成果が現地社会の平和に活かせず終わることも少なくありません。私も何度か挫折を味わいました。けれども、実際にイラクに住む人の苦しみはその比ではないので、研究者が弱音を吐いているわけにはいきません。それが私のモチベーションです。
また、イラク国民のアイデンティティがどのように成り立ち、どう変化しているか

にも関心があるので、ルーツとなるイラク建国も研究テーマとしています。イラク国内でのテーマの研究発表を行った際に、イラクの研究者から高い評価をいただきました。私自身、外国人研究者だからこそ客観的な研究ができていたという自覚があり、手応えを実感した経験でした。
最新トピックとしては、文部科学省の平成28年度「新学術領域研究」に採択された「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超越する」というプロジェクトがあります。これは、テロや戦争により現代のグローバル社会が未曾有の危機状態にあるという認識のもと、多

中東研究を通して人と人との関係性を探る

多様性を意識することで
アイデンティティを見つめてほしい
日本にいとあまり感じないかもしれませんが、世界を見渡すと、多様な民族や宗教が共存しているのが当たり前です。学生の皆さんは、日本の殻に閉じこもることなく、ぜひ世界に目を向けてください。民族や宗教の多様性に意識を向けることで、自らのアイデンティティを見つめることにもつながると思います。



国際学会は研究発表をする場でもあり、同じテーマの研究者との情報交換の場でもある

現地から取り寄せた新聞の社説などが論調分析の材料。酒井先生の論文や論説はアラビア語に翻訳され、イラクで出版されている



中高生が未来市長になって考えるまちづくり 地域に根ざしたOPoSSuMの取り組み



マスコット
キャラクター
Mr.OPoSSuM

OPoSSuM ~Open Project on Stock Sustainability Management~

千葉大学では、地域に根差した取り組みの一つとして、研究プロジェクト「多世代参加型ストックマネジメント手法の普及を通じた地方自治体での持続可能性の確保」(Open Project on Stock Sustainability Management(愛称:OPoSSuM/以下、オポッサム))を実施しています。オポッサムは、平成26年度に、科学技術振興機構社会技術研究開発センターの「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域に採択されたもので、千葉大学大学院人文社会科学部研究科の倉阪秀史教授が代

表を務め、実施機関として当大学のほか、芝浦工業大学、国立環境研究所が参加しています。

オポッサムでは、地域に応じて将来発生するであろう持続可能性に関する課題を発見し、自覚し、その対応策について具体的なシナリオに沿って、さまざまな世代が参加しつつ検討し、地域の各種計画や施策に反映させていくという経験(ストックに着目した持続可能性マネジメントの経験)を全国に広げ、多世代共創による持続可能な社会づくりに貢献することを目指しています。

私たちの未来はどうなるの? ~未来シミュレータと未来カルテ~

規模の小さい自治体では資本ストックの維持管理に関するノウハウや情報が欠けていることから、資本ストックの現況についての情報提供を行いつつ、オポッサムが開発した将来の資本ストックの状況を予測する「未来シミュレーター」の結果を、「未来カルテ」として提供する取り組みを行っています。

の予測、保育・教育関係予測、医療・介護関係予測、道路・公有施設などの維持費予測などの項目に基づいて、各自治体の未来を予測したカルテであり、市町村別にデータを提供する準備を進めています。



未来シミュレーターとは、このままの傾向で進むと「2040年」に産業構造がどのように変化し、人的資本の維持サービス(保育、教育、医療、介護)に関する需給ギャップ、住宅の需給ギャップ、農地の耕作ギャップ、財政の収支ギャップなどが、どのように発生するのかを、全国の自治体ごとに予測するものです。
未来カルテは、未来シミュレーターの結果などから、産業構造

未来市長になって考えよう ~未来ワークショップ~

オポッサムでは将来の地域を担う中高生を主役としたワークショップ(未来ワークショップ)を開催しています。
ワークショップは、未来シミュレーターやつながり調査の結果を伝え、それらを踏まえて、「2040年」の未来市長として、今の市長に対する政策提言を行うものです。



▲未来市長としての課題の書き出し



▲上総牛久駅周辺のまちあるき

平成27年8月19・20日に市原市との共催のもと「いちばら未来ワークショップ」が行われました。当日は、中学生39名、高校生1名が参加し、「2040年」に未来の市原市長になったという想定で、1日目に、オポッサムの研究者グループが未来シミュレーターの結果を報告するとともに街あるきを行い、2日目に、課題抽出ワークショップ、政策立案ワークショップを実施しました。

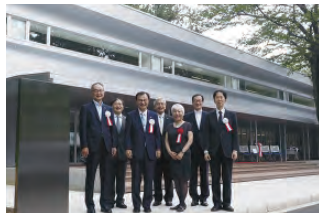


▲現市長に直接プレゼンテーションをしました

中学生らによりまとめられた提言は、当日現市長に直接発表することができました。また、市原市議会の「地方創生と将来ビジョンに関する調査特別委員会」でも報告されました。提言は今後、市原市の総合計画に生かされていく予定です。

工学部松韻会館が リニューアルオープン

INFORMATION



徳久学長、園田工学同窓会長他、千葉大学の幹部ら

工学部の同窓会館である松韻会館が約半世紀ぶりに改修され、7月1日に大学関係者等約80名が出席し竣工記念式典が行われました。研究者交流の促進はもとより、学内の教職員・学生などにも広く活用されるための多目的交流ゾーンを、また、学部の利用者に向けては、賑わいや地域利用を促すための対話・アーカイブゾーンを、さらに、大学への訪問者に向けては、学内のイベント情報や各種問い合わせなどに対応するため、インフォメーションセンターを設置しています。

全国博士課程教育 リーディングプログラム 学生会議を開催

EVENT



記念写真におさまる全国から集まった参加者

7月8日から10日、千葉市幕張メッセにおいて「第4回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議」が千葉大学・筑波大学の学生実行委員会により開催されました。即戦力として求められる応用力や問題解決力などを鍛えることを目指したもので、全国から学生など約300名の参加者を得、過去最大の規模となりました。ワークショップでは、国籍も専門分野も違う学生同士が活発に意見を交わしあい、発想豊かなイノベーションが多数提案されました。

教育学部4年 大木学さんが快挙

AWARD



写真中央が大木さん

平成28年6月24日から26日に開催され、オリンピックへの切符を掛けて熱戦が繰り広げられた第100回日本陸上競技選手権大会男子800m大会において、教育学部スポーツ科学課程4年の大木学さんが1分50秒76の好記録で5位に入賞しました。本学現役学生による同大会の入賞は初めての快挙であり、5月に開催された第95回関東学生陸上競技対抗選手権大会において、見事優勝を果たしています。

徳久剛史学長が 次期学長に再任

INFORMATION



会見にのぞむ徳久剛史学長

国立大学法人千葉大学学長選挙会議（議長・黒木登志夫（日本学術振興会顧問、元岐阜大学学長）は9月2日、次期学長として徳久剛史学長の再任を決定しました。任期は平成29年4月から4年間。同日に行われた記者会見では、「千葉大学を世界最高水準の教育研究拠点として、社会貢献と次世代を拓く国際的な人材を育成する」ことにより「世界に輝く千葉大学を目指します」と所信を發表しました。

アイヌ語研究の 中川裕教授が人気漫画 「ゴールデンカムイ」を監修

INFORMATION



中川裕教授が監修を務める「ゴールデンカムイ」©野田サトル/週刊ヤングジャンプ・集英社

明治末の北海道を舞台にした野田サトルさんによる冒険漫画「ゴールデンカムイ」は、集英社刊の週刊誌で連載開始から注目を集めており、今年3月マンガ大賞2016に選出されました。この漫画で表現されているアイヌの言葉や文化について、文学部の中川裕教授が監修しています。千葉大学では、30年以上にわたるアイヌ語を語学科目として開講してきた歴史があり、アイヌ語に関しては日本で、ひいては世界でトップの研究・教育機関であると言えます。

オリエンテーリング部 香取菜穂さんが 世界大会に出場

AWARD



オリエンテーリング競技中の様子

オリエンテーリングは特別に作られた地図を使って大自然の中を駆け巡り、チェックポイントを辿りながら可能な限り短時間で走破するスポーツです。今年創部42周年の歴史を持つ千葉大学オリエンテーリング部の法政経学部2年香取菜穂さんがスイスで開催された世界大会に、香取さんと園芸学部2年森谷風香さんが台湾で開催されたアジア大会に出場しました。

野菜に含まれる抗酸化物質 スルフォラファンがうつ病を 予防

INNOVATION



スルフォラファンを含むブロッコリースプラウト

千葉大学社会精神保健教育センターの橋本謙二教授らは、緑黄色野菜、特にブロッコリースプラウトに多く含まれるスルフォラファンがうつ病に有効であるということを見出しました。うつ病の病因に、炎症や酸化的ストレスに関わる転写因子Nrf2-p-39の異常が関与していることを明らかにしたものです。今回の実験でスルフォラファンがNrf2を活性化することにより、ストレスによって引き起こされるうつ病の発症を予防できる可能性が示唆されました。

千葉大学吹奏楽団が 金賞及び賛助会特別賞受賞

AWARD



県吹奏楽コンクールで金賞および賛助会特別賞を受賞した千葉大学吹奏楽団

8月4日、千葉県文化会館で開催された第58回県吹奏楽コンクールにおいて、千葉大学吹奏楽団が金賞および賛助会特別賞を受賞しました。千葉大学吹奏楽団は、西千葉キャンパスを中心に、吹奏楽を楽しむことを目指して活動しています。活動内容としては演奏会やコンクールに向けた練習が中心ですが、夏と秋には西千葉駅前でのコンサート、地元幼稚園での演奏やお祭りへの参加など、地域に密着した活動にも積極的に取り組んでいます。

学生・若手研究者のチャレンジを支え、未来を育てる 千葉大学 SEEDS 基金

千葉大学 SEEDS 基金は、ご寄附をもとに、学生の生活環境の整備、教育研究環境の整備、学生への奨学金の支援、国際交流事業の推進などを行っています。



奨学金・支援金の給付

学生を対象とした、経済的支援事業があります。

次世代を担う若者がより良いキャンパスライフを送れるよう、ご支援・ご協力をお願いいたします。



ホームページから寄附の申込みができます

詳しくは → <http://kikin.chiba-u.ac.jp>

弥生時代から、江戸時代に 至る先人たちの大量の遺構

もっと
知りたい
千葉大学

（国際教養学部 見城 悌治）



発掘された古墳の石室

文学部考古学研究室は、平成14年から平成23年まで、3期にわたり、亥鼻キャンパスの発掘調査を行い、弥生時代から古墳時代に至る15戸以上の集落跡や埴輪片を伴う前方後円墳、さらに中近世の陶磁器片を発見する成果を挙げました。キャンパスの西方にそびえる千葉城（千葉市郷土博物館）は、昭和42年に史実と関係なく建造されたものですが、亥鼻台は鎌倉時代の千葉氏の拠点だけではなく、長きにわたる先人の営みがあったことを発掘は明らかにしたのです。

アメリカ・シンシナティ大学サマープログラムを 文学部が合同で開催

INFORMATION



サマープログラムに参加したシンシナティ大学と千葉大学の教員・学生



イワノワ准教授による公開講演会

（於：アカデミック・リンク・センター）も開催され、日本の古典文学が翻訳によって受容されていく諸相についての講演に、多くの聴衆が耳を傾けました。

6月10日から22日にかけて、千葉大学の協定校であるアメリカ・シンシナティ大学より、ゲルガナイワノワ准教授（近世日本文学・文化論 引率のもと15名の学生が来日）、文学部と合同で集中授業を実施しました。江戸時代の文学や絵画にみられるジェンダーやセクシュアリティを考察しながら、それらが現代日本の大衆文化や社会に与えた影響について考えることをテーマとしたこの授業は、シンシナティ大学の学生他にも、文学部および国際教養学部の学生約40名が受講し、イワノワ准教授および文学部教員の英語による講義のほか、歌舞伎観劇、浅草見学、千葉大学留学生支援ボランティア会の協力による浴衣着付け体験や「房総太巻き作り」などの課外活動が行われ、授業をとおして両校の学生はお互いに学び合い、親交を深めました。また20日には、イワノワ准教授による公開講演会「英訳された『枕草子』が作り出した大衆文化」（於：アカデミック・リンク・センター）も開催され、日本の古典文学が翻訳によって受容されていく諸相についての講演に、多くの聴衆が耳を傾けました。

I N D E X



02 特集 世界に羽ばたく学生を応援！
海外留学へのホップ！ ステップ！ ジャンプ！
千葉大学のグローバル人材育成プログラム紹介



04 特集 「トビタテ！留学JAPAN」に13人が選ばれる！
「トビタテ！留学JAPAN」採択までの道のりを
大西教授が2人の5期生にインタビュー！

06 特集 戦略的重点研究強化プログラム
千葉大学が取り組む、6つの最先端の研究を紹介

08 研究室訪問
中東研究を通して人と人との関係性を探る
—千葉大学法政経学部法政経学科政治学講座
(中東政治) 酒井研究室—

09 TOPICS -EXTRA-
地域の未来を切り拓く「オボッサム」の活動

10 TOPICS/もっと知りたい千葉大学



〔表紙〕亥鼻キャンパスにある「附属図書館亥鼻分館」